

2020 年度公開講座
「核時代における非戦」
第 4 回 「核兵器禁止条約発効後の NPT と新しい世界」
2021 年 2 月 12 日(金)16:30~18:00

10 月 25 日(日本時間)に核兵器禁止条約の批准国が 50 カ国となりました。90 日後の 2021 年 1 月 22 日に条約は国際法となって、核兵器を「絶対悪」とする国際規範が、飛躍的に強化されることとなります。核廃絶に向けて画期的な進展です。本講座は、これを受け、「ラッセル＝アインシュタイン宣言」が掲げる「核兵器の廃絶」と「戦争の廃止」という二つの大切な柱に改めて着目し、今を生きる日本の科学者・市民は「平和」の問題にどう取り組むべきか共に考えます。

プログラム

(敬称略)

16:20 Zoom ブロードキャスト開始

司会 たかはらたかお 高原孝生(明治学院大学国際平和研究所長)

16:30 開会

共催者代表挨拶 かみやまさみち 神谷昌道(WCRP 核兵器禁止条約批准 TF メンバー)

共催者代表挨拶 いながきともひろ 稲垣知宏(日本パグウォッシュ会議代表)

16:40 講演 「核兵器禁止条約発効後の NPT と新しい世界」

なかむらけいこ 中村桂子(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)

17:25 コメント かなざきゆみ 金崎由美(中国新聞社編集局ヒロシマ平和メディアセンター長)

17:45 質疑応答

18:00 閉会

プロフィール

(敬称略)

<講演者>

中村桂子(なかむら・けいこ) 長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授

専門:国際関係論(核軍縮)。カリフォルニア州立大学ハイワード校国際学卒業。モンレー国際大学大学院国際政策研究修士課程修了。2001年～2012年特定非営利活動法人(NPO法人)ピースデポの研究員のちの事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組み、核軍縮に関する国際会議の取材活動などに携わる。2012年4月、長崎大学核兵器廃絶研究センター発足に伴い現職に着任。著書に、『核のある世界とこれからの考えるガイドブック(RECNA 叢書)』(2020 法律文化社)、『核の脅威にどう対処すべきか』(共著)(2018 法律文化社)等。

<コメンテーター>

金崎由美(かなざき・ゆみ) 中国新聞社編集局ヒロシマ平和メディアセンター長兼論説委員

北海道大学法学部卒。1995年中国新聞社入社、岩国総局、東京支社編集部、編集局報道部、論説委員室、ヒロシマ平和メディアセンターなどを経て、2020年3月から現職。2017年に連載「グレーゾーン 低線量被曝の影響」で科学ジャーナリスト大賞を共同受賞。「ヒロシマの空白 被爆75年」「ヒロシマの空白 被爆75年 街並み再現」の取材班代表として、2020年度新聞協会賞を受賞。著書に、『光に向かって這っていけー核なき世界を追い求めて』(サーロー節子さんとの共著)(2019 岩波書店)等。

<共催者代表挨拶>

神谷昌道(かみや・まさみち) WCRP 核兵器禁止条約批准 TF メンバー

米国タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士課程修了。1998年10月から2002年3月まで、広島市立大学広島平和研究所・特別研究員として、核軍縮の政策提言に携わる。現在、アジア宗教者平和会議(ACRP)シニアアドバイザー。著書に『21世紀の核軍縮-広島からの発信』(共著)(2002 法律文化社)等。

稲垣知宏(いながき・ともひろ) 日本パグウォッシュ会議代表

広島大学情報メディア教育研究センター教授。専攻は、数物系科学、物理学、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理。博士(理学)(広島大学)。

<司会>

高原孝生(たかはら・たかお) 明治学院大学国際平和研究所長

明治学院大学国際学部教授。専攻は、国際政治学、平和研究、軍縮研究。日本パグウォッシュ会議副代表。著書に『戦争をしないための8つのレッスン』(編著)(2016 晃洋書房)等。